

武蔵水路において内水排除を実施

武蔵水路周辺（埼玉県行田市・鴻巣市）では、台風第19号の影響により、10月11日（金）22時頃から12日（土）23時までに総雨量252mm（熊谷地方気象台熊谷観測所）の降雨を記録しました。

この降雨による出水に対し、水資源機構利根導水総合事業所が管理する武蔵水路では、河川及び周辺地域からの洪水を2箇所の水門及び6箇所の放流口から水路内に取込み、荒川に排水する防災操作（内水排除）を行いました。

今回の内水排除の水量は、累計で約263万m³となり、東京ドーム（124万m³）約2.1杯分の量に相当し、武蔵水路改築後（平成28年度以降）2番目の量となるものでした。

今回の内水排除により、忍川の佐間水門地点で約0.96m、元荒川の川面水門地点で約0.26m河川水位を低減させ、武蔵水路周辺の内水はらん低減に努めました。



令和元年10月16日

独立行政法人 水資源機構
利根導水総合事業所

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、水資源記者クラブ
竹芝記者クラブ、熊谷記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 利根導水総合事業所 総務課長 野村
住 所：埼玉県行田市大字須加字船川4369
電 話：048（557）1501

武蔵水路の防災操作ないすいはいじよ（内水排除）

1. 降雨の状況

武蔵水路周辺では10月11日（金）22時頃から雨が降り始め、朝から夜中にかけて1時間当りの雨量が10～24mmの強い雨が続き、12日（土）23時までには総雨量252mm（熊谷地方気象台熊谷観測所）を記録しました。

2. 武蔵水路の防災操作（内水排除）

この降雨による出水に対して、武蔵水路では、2箇所の水門及び6箇所の放流口から洪水等を武蔵水路内に取り込み荒川に排水する内水排除を実施しました。

水門：佐間水門さま（忍川おしかわ）、川面水門かわづら（元荒川）

放流口：（行田市）長野落放流口ながのおとし、8号放流口きゅうおしかわ、旧忍川放流口つづみね、堤根放流口
（鴻巣市）川面放流口かわづら、赤見台放流口あかみだい

今回の内水排除で排水した量は、10月12日（土）9時30分から10月15日（火）7時30分まで累計約263万 m^3 、東京ドーム（124万 m^3 ）約2.1杯分の量に相当します。

3. 佐間水門及び川面水門における内水排除の効果

今回の内水排除では、忍川の佐間水門地点において、内水排除を行っている13日（日）12:30時点の水位A.P.18.56mに対して、佐間水門により洪水を取り込まなかった場合の水位は、A.P.19.52mになると考えられ、約0.96mの水位低減効果があったと推定されます。

川面水門では、元荒川の川面水門地点において、内水排除を行っている13日（日）13:10時点の水位A.P.17.40mに対して、川面水門により洪水を取り込まなかった場合の水位はA.P.17.66mになると考えられ、約0.26mの水位低減効果があったと推定されます。

※ A.P.は荒川工事基準面

4. 今回の内水排除の特徴

台風19号の影響による出水に対する内水排除操作の特徴は、荒川の熊谷水位観測所の河川水位が、はんらん危険水位（A.P.31.96m）を超えたことにより、武蔵水路から荒川への排水を一時行えない時間帯（12日18時～13日13時の約19時間）が発生しました。その時間帯は、全ての水門、放流口を閉じ、荒川への排水を中止しました。その後、荒川の熊谷水位観測所の河川水位がはんらん危険水位を下回ったことから、再び内水を取込み荒川へ排水しました。

5. これまでの内水排除実績

武蔵水路は、平成 27 年度に改築事業を完了して、本年度は新しい武蔵水路に生まれ変わって 4 年目です。改築後に実施した内水排除は、平成 28 年度から通算 16 回目になります。

平成 28 年度実績：内水排除 6 回

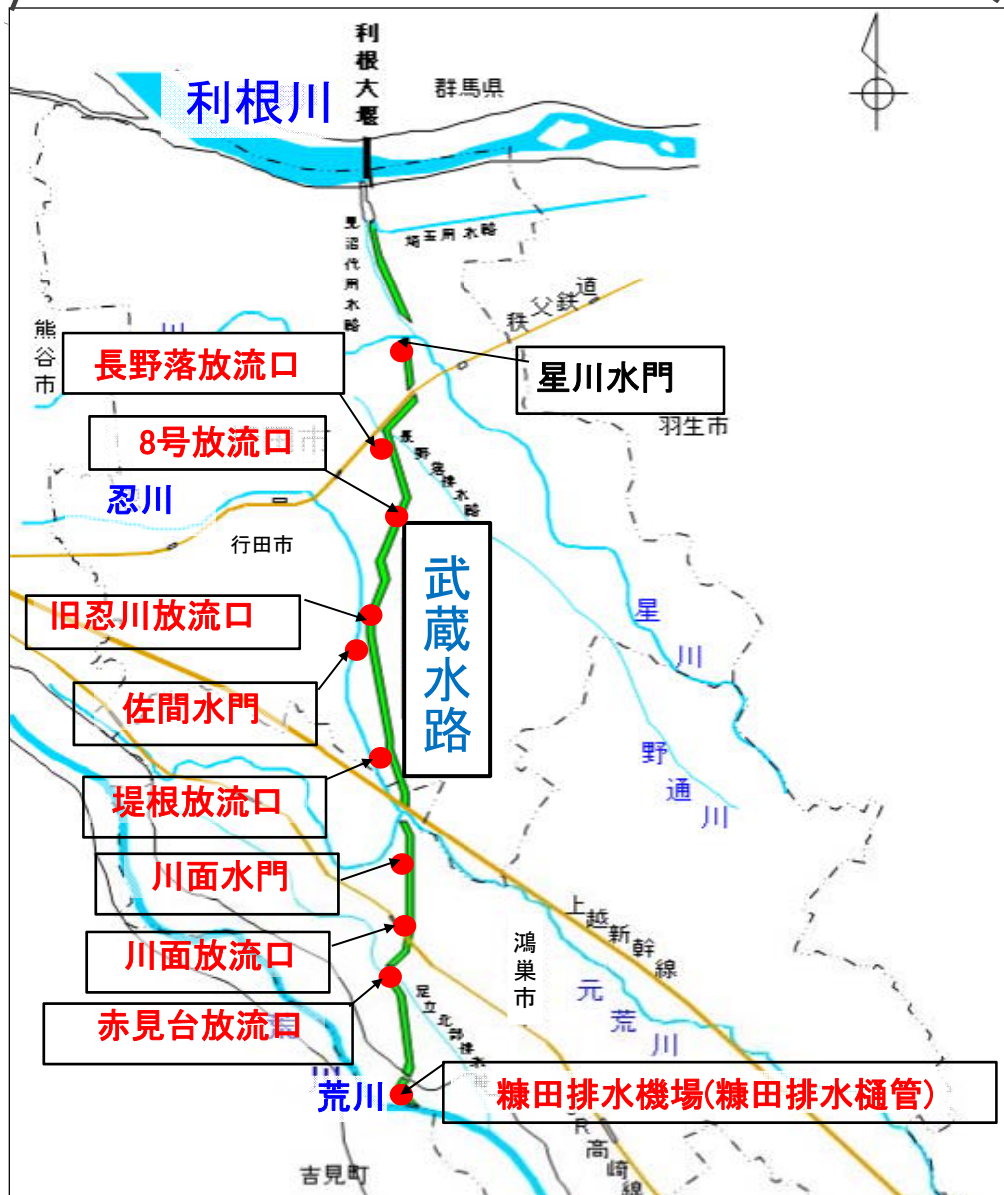
平成 29 年度実績：内水排除 3 回

平成 30 年度実績：内水排除 3 回

令和元年度実績：内水排除 4 回

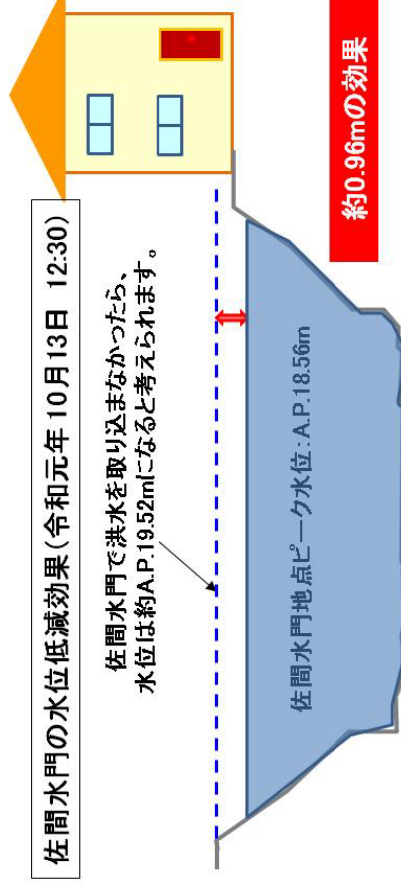
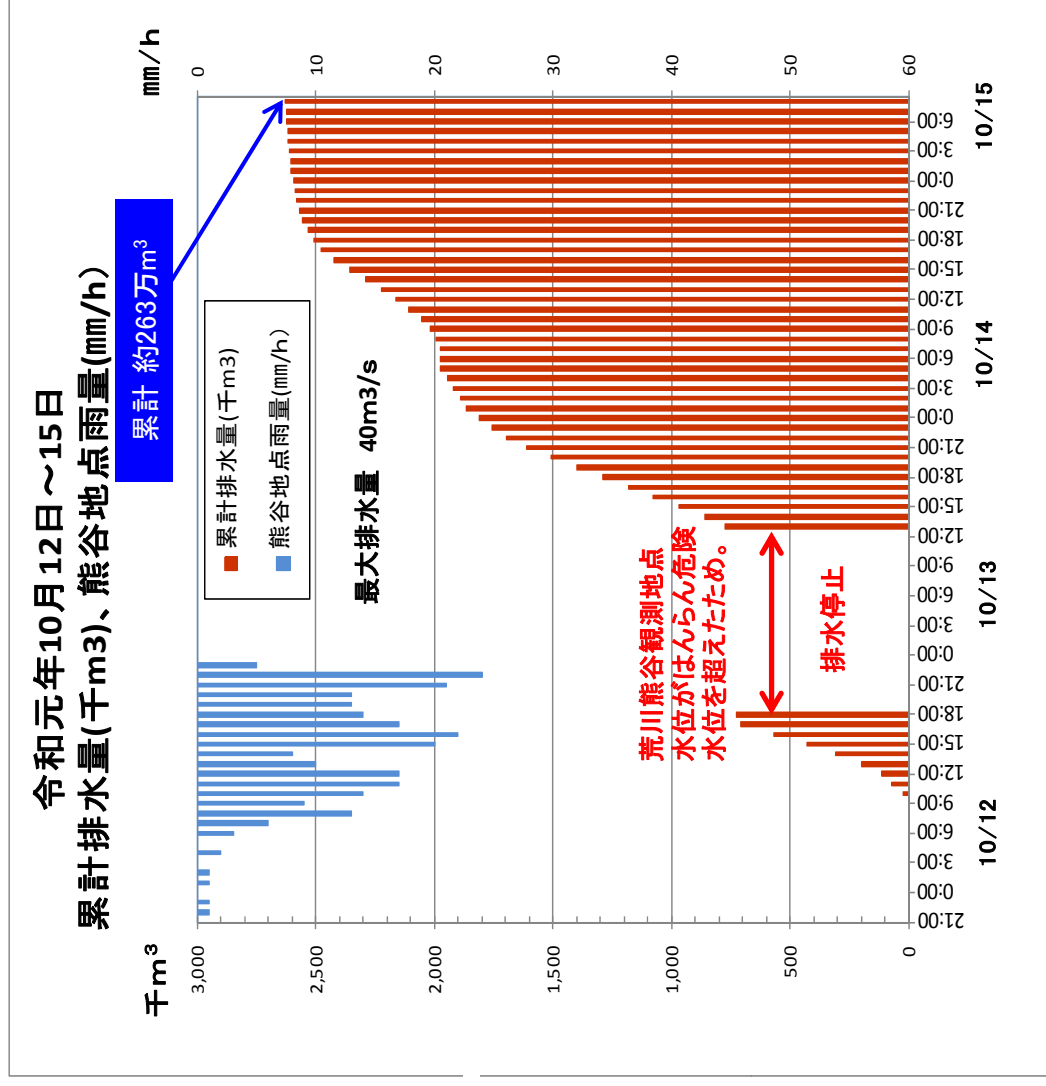
※改築後の最大排水量：約 537 万 m³（平成 29 年 10 月 22 日～ 24 日）

武蔵水路位置図



武蔵水路 水門・放流口等位置図
(赤字の施設は内水排除操作を行った施設)

令和元年10月12日～15日台風19号 武蔵水路内水排除速報



佐間水門の洪水取込による忍川の水位低減効果

- 8箇所の水門・放流口により洪水等を武蔵水路に取り込み、累計約263万m³※₁を荒川へ排水しました。これは、東京ドーム(124万m³※₂)約2.1杯分の量に相当します。
- 佐間水門、川面水門で洪水を取り込んだことにより、忍川(佐間水門付近)で約0.96m、元荒川(川面水門付近)で約0.26mの水位低減効果※₁があったと推定されます。

※T.P.(東京湾平均海面)0.0m=A.P.(荒川工事基準面)1.13m

※1 取り込み量及び効果は水資源機構試算 ※2 東京ドームHP(<https://www.tokyo-dome.co.jp/dome/facilities/index.html>)

○令和元年10月12日 台風19号 内水排除状況



令和元年10月12日 12:31 佐間水門 水路側状況



令和元年10月12日 12:31 川面水門 水路側状況